

～ドラマティックな歴史講座～

テーマ：卑弥呼はアマテラスになったのか？！

講師：林 和清先生

日時：5月29日（月） 10:00～11:40



① 耶馬台国とは

弥生時代中・後期 2～3 世紀のころ日本にあった国。

（魏志倭人伝）にかなり詳しい記述があり、その解釈をめぐる邪馬台国の位置について畿内説と九州説とが古くから対立している。

② 魏志倭人伝とは

日本古代に関する中国の正史の一つで「三国志」のなかの「魏志」30 巻、東夷伝にある倭人の条の通称。

③ 卑弥呼とは

卑弥呼は「鬼道に仕え、よく妖をもって衆を迷わ」しその姿を見た者はまれであった。一生夫を持たず、政治は弟の輔佐によって行われた。武装した兵士に警備された壮大な宮室を営み、常に 1000 人にかしずかれ、取り次ぎは居室に出入りを許された 1 人の男によって行われた。中国の景初 238 年第 1 回の使節を魏に遣わし、生口（奴婢）や布を献じた。

これに対して明帝は、卑弥呼に親魏倭王の称号と金印紫綬を与え、かつ錦、絹、刀、銅鏡、真珠などを贈った。



④魏志倭人伝 <邪馬台国への道>

記述を読むと、九州或いは近畿を想起させる。

⑤倭国大乱とは

弥生時代後期の2世紀後半に倭国で起こったとされる争乱。中国の複数の史書に記述が見られる。

倭国の地域は特定されていないが、列島規模であったとする見方もあり、日本史上初の大規模な内戦だと

する意見もある。70~80年を経て倭国が相争う状況となった。争乱は長く続いたが、邪馬台国の卑弥呼という女王を王とすることで国中が服した。

⑥魏志倭人伝 <邪馬台国の人びと>

男子のこゝと、女子のこゝと、衣食住のこゝとが記述されている。

⑦魏志倭人伝 <卑弥呼について>

卑弥呼のこゝとが詳しく記述されている。

⑧親魏倭王

魏の皇帝から邪馬台国の女王・卑弥呼に対して238年に与えられたとされる封号のこゝと。

⑨箸墓古墳

卑弥呼の墓とされる説もある。

⑩卑弥呼と皆既日食

247年、西に沈みゆく太陽が欠け始め日食が見られた

★最古の日食の記録は「日本書紀」巻第22に載っている推古36年(628年)のもので、この日食の5日後に女帝推古は75才の生涯を閉じた。

⑪天照大御神

記紀によれば太陽を神格化した神であり、皇室の祖神の一柱とされる。

⑫壹輿

卑弥呼の宗女で卑弥呼の跡を13才で継いだとされる。

■天照大御神と卑弥呼 9つの共通点 ドラマティックです!

①女性である ②宗教的権威がある

③夫がない ④弟がいる

⑤古事記に記述のある高木神と「魏志倭人伝」の「女王の言葉を伝えるために出入りしている男」の符号があう。

⑥「古事記」にしばしば登場する「倭」の文字と「魏志倭人伝」で「卑弥呼は倭の女王」とあることの関連性 ⑦「大和朝廷の祖先の天照大御神」と「邪馬台国の卑弥呼」の「やまと」と「やまたい」の音が類似

⑧卑弥呼の宗女・台与にあたる人物を、日本の史料にも確認できる

⑨卑弥呼死後の争乱と思われる記述が古事記にある

■火山噴火の記録

「スサ」は荒れすさぶの意とする。高天原でのスサノヲの行いは暴風雨の被害を示すとし、人間社会に対する自然の災害天災を象徴している神として登場する。スサノヲの狼藉は縄文人の火山の記憶なのではないかという説もある。

物理学者の寺田寅彦はスサノヲを火山のメタファーであると説いた。



争乱は長く続いたが、邪馬台国の卑弥呼という女王を王とすることで国中が服した。



(教室まとめ：黒木武紀)